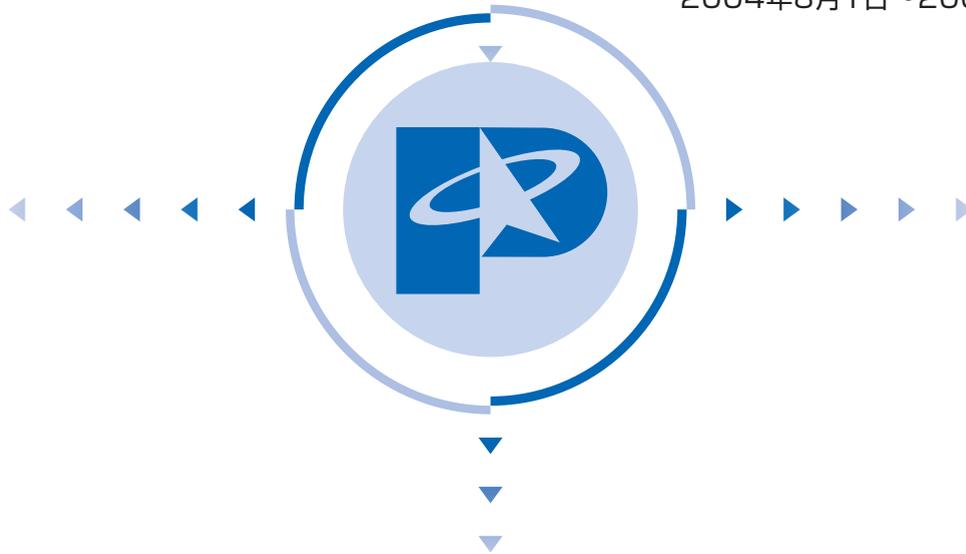




事業報告書

2004年8月1日～2005年7月31日



# おかげさまで20年。 これからも流通システムの「革新」に挑戦し続けます。

プラネットは、1985年に日用品雑貨化粧品業界のVAN運営会社として発足し、以来20年間、安全・中立・標準化を基本方針として、メーカーや卸売業が効率的な業務を行うための通信サービスを提供し続けてまいりました。

おかげさまで2004年2月にはJASDAQ市場への上場を果たし、現在では参加メーカー317社、参加卸売業470社に、日用品雑貨化粧品業界の流通機構を根底から支える不可欠のインフラストラクチャーを提供しています。

これからも、流通システムを通じて、消費経済の利便性向上に貢献してまいります。

## ■ 財務ハイライト

(百万円)

	2005年通期	2004年通期	増減
売上高	2,186	2,106	79
経常利益	353	246	107
当期純利益	233	148	84
1株当たり当期純利益(円)	26,666.65	17,777.21	8,889.44
総資産	1,950	1,580	370
株主資本	1,285	1,111	174
株主資本比率(%)	65.9	70.3	△4.4

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通しおよび計画に基づいた予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる可能性があります。

## 目次

●株主・投資家の皆様へ	1
●特集「インターネットEDIの導入と展望」	2
●トピックス	6
●当期の事業概況	8
●財務諸表	10
●企業情報	12
●株式情報	13

# 株主・投資家の皆様へ



代表取締役社長  
玉生 弘昌

株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の業績は、計画どおり順調に推移いたしました。2005年7月期通期の業績につきましては、売上高2,186百万円（前期比3.8%増）、経常利益353百万円（前期比43.6%増）、当期純利益233百万円（前期比57.1%増）となりました。既存ユーザーに加えて、当社のサービスに対する高い満足度を背景に、ペットフードなど隣接業界への事業展開が順調に進んだのが大きく貢献しました。中間流通＝卸店にとっては効率的で精度の高い物流サービスが競争力の重要な源泉となってきており、プラネットは確実にその基盤になってきています。

プラネットを取り巻く事業環境は大きく変化しています。少子高齢化の進展や人口減少などによっては、当社が基盤としている日用品雑貨化粧品業界も成熟化していくと考えられます。その一方で、ペットフード業界や介護関連業界、大衆薬業界は着実に成長しています。プラネットはこうした成長分野へも積極的に事業を展開したいと考えており、当期の業績はその将来性を示しているといえます。

プラネットは今後、事務合理化ネットワークからマーケティングネットワークを目指していきます。流通業のEDIを固めながら、マーケティング情報の発信という広い分野への展開を考えていますが、当然ながら、競争相手も多くなってきます。しかし、当社は商品情報をはじめとする業界大手メーカーのマーケティング情報をほとんど登録しており、それは当社の強いアドバンテージとして事業の展開に大きく貢献すると確信しています。

今後とも、プラネットの経営活動に注目いただき、より一層のご理解を賜りたく、お願い申し上げます。

2005年10月  
代表取締役社長  
玉生 弘昌

特集 トップ・インタビュー

# インターネットEDIの 導入と展望



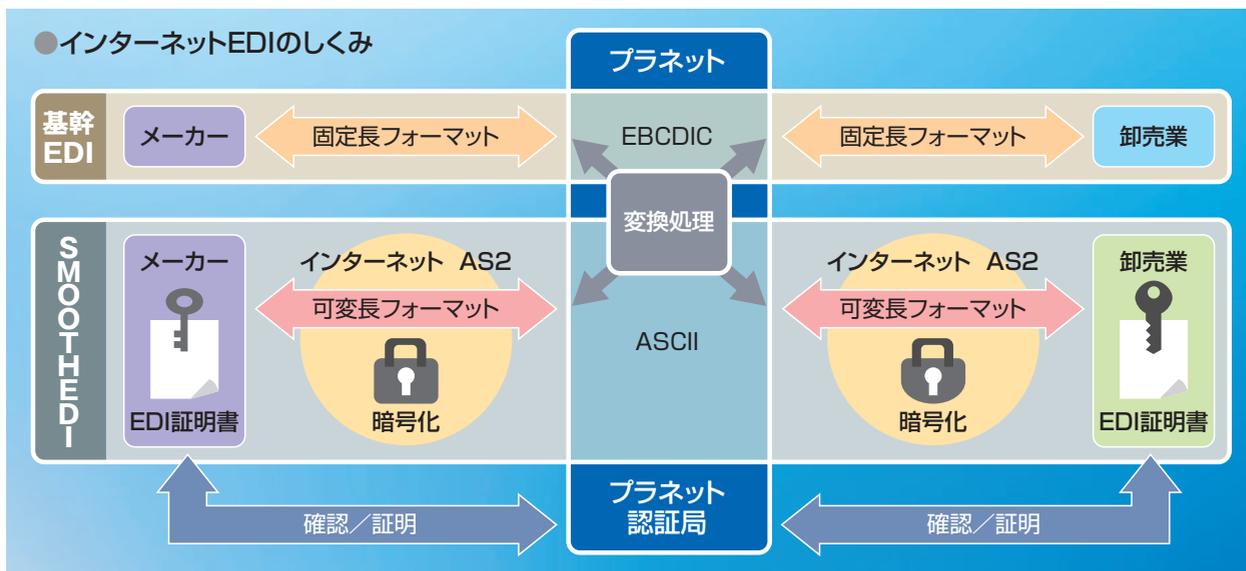
プラネットは2005年8月より、  
国際標準に準拠した新しいインターネットEDIサービス  
「SMOOTHEDI」(スムーズ イーディーアイ)の稼働を  
開始しました。

インターネットEDI導入の狙いと展望を  
玉生弘昌社長が語ります。

**Q** インターネットEDIを導入した背景をお聞かせください。

**A** もともと、プラネットは日用品雑貨化粧品業界の大手メーカーと業界卸売業との間で、発注データや請求データなど24種類のデータの交換(EDI)を運用してきました。インターネットが爆発的に普及する中で、プラネットもWeb-EDIサービスを提供してきましたが、さらにお客さまへの利便性を向上させるためにインターネットEDIが必要と考えたのです。

回線としてのインターネットは、非常に効率がよく、B to Bにおいても主流になると考えられます。そこで、プラネットは、欧米のB to Bで広く用いられている「AS2」を採用し、国際的にも通用するインターネットEDIサービスを始めたわけです。



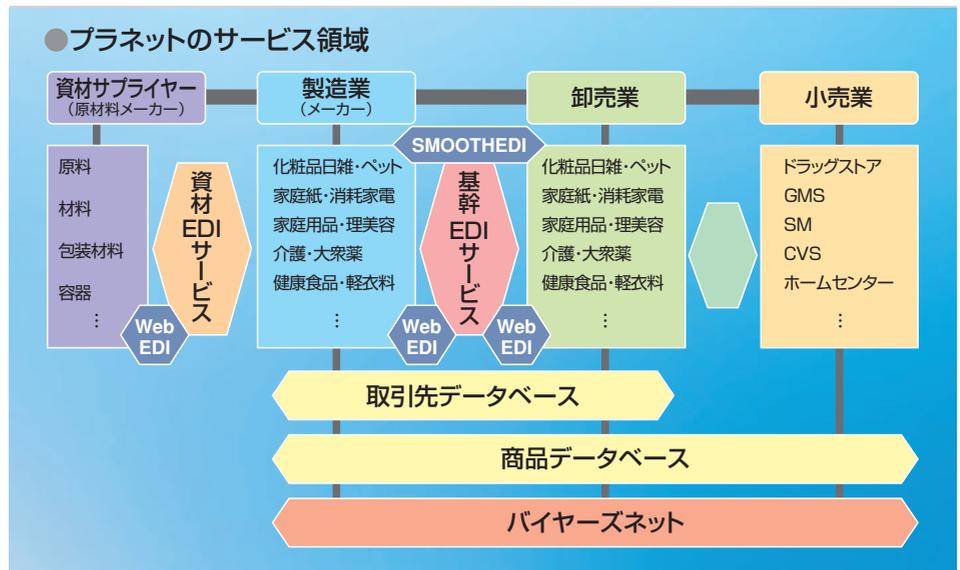
**Q** インターネットEDIにはセキュリティの問題があると指摘されていますが、その対策はどうなっていますか。

**A** インターネットには情報漏洩や「なりすまし」、ウイルス、悪意を持った人物による破壊工作などの心配があります。これに対し、プラネットのインターネットEDIでは、「AS2」の機能もちいてデータの暗号化を行います。また、プラネットはデジタル証明書を発行し本人認証も行います。これらの対応によって、インターネットを使って安全にEDIを行うことができます。



**Q** ユーザーにとってインターネットEDI導入は  
どんなメリットがありますか。

**A** まず、従来の専用線ネットワークを利用せずに、インターネットにつながったパソコンがあれば始められるという意味で、導入がとても手軽だということが挙げられます。もうひとつはフレキシビリティです。インターネット通信には可変長フォーマットが採用されており、このフォーマットを使うと新たな項目の追加などが実に簡単に行えるようになります。そして、もちろんコスト削減にもつながります。定額料金制のADSLや光ファイバーといったサービスを使えば、データを高速大容量・定額でやり取りできるようになるため、ユーザー側の利便性は飛躍的に高まるでしょう。



**Q** これによってプラネットはどのような強みを発揮できますか。

**A** プラネットのユーザー企業の8割近くは、いまだオープン系ではない旧来型のシステムを使用しています。しかし、そうしたお客さまにも無料でデータの交換サービスを実施していますから、間に当社を挟めば不便なことは一切ありません。したがって、

インターネットEDIは、最初からオープンシステムを備えた新規ユーザー企業にとっては特に魅力です。文字コードがアスキーコードでインターネットEDIが容易に使い、しかも従来型のユーザーとすぐに通信ができるというのは大きなメリットです。これによってプラネットのフロンティアが大きく広がることになるわけです。「お客さまのためにすべての受け皿を用意する」のがプラネットの信条です。

そしてまた、それだけのフルラインのセットを持てるのはプラネットだけだと自負しています。逆に、今から新規に旧来型のシステムに対応するのはコスト的にも技術的にも大変な困難を伴います。昔からこの業務を行ってきたプラネットには、それが可能です。当社に対してコンペティターが現れにくいというのには、こういう背景があるからです。

**Q** 今後の課題としてはどんなことが挙げられますか。

**A** 今までお話ししたように、プラネットのサービスはユーザーに大変なメリットをもたらします。そのことをお客さまであるメーカーなどにアピールしていくことです。当社のビジネスモデルは「B to B」であり、顧客を開拓していくためには既存ユーザーの高い満足度が大きな力を発揮します。その点では強い自信を持っていますが、それと合わせて新聞発表など、あらゆる機会を通じて周知徹底を図っていくつもりです。

#### ●プラネットの主要取引先企業（50音順、敬称略）

アース製薬	杏林製薬	大日本除蟲菊	バンダイ	マンダム
江崎グリコ	クレシア	ツムラ	P&G	森下仁丹
エステー化学	コーセー	テルモ	久光製薬	ユニ・チャーム
エフティ資生堂	小林製薬	ドギーマンハヤシ	ピジョン	ライオン
オムロン	サンスター	ニッサン石鹼	ファンケル	ロート製薬
貝印	ジョンソン	日本香堂	フマキラー	… など
花王	住友スリーエム	日本食研	ホーユー	合計317社
カネボウ	積水化学工業	日本ペットフード	マスターフーズリミテッド	
牛乳石鹼共進社	ソニーマーケティング	日本リーバ	松下電器産業	
キュービー	大王製紙	白元	マルハペットフード	(2005年7月31日現在)

7月12日、プラネットにて、マスコミ各社を対象とした記者発表会が開かれました。当日の内容は、プラネットの現況やインターネットEDIサービス、それに伴う料金体系などのトピックス。その後、創立20年でプラネットEDIユーザーが1,000社を突破したことを記念して、1,000社目ユーザーとなった株式会社シュウ ウエムラ化粧品へ、玉生社長から記念品が贈呈されました。

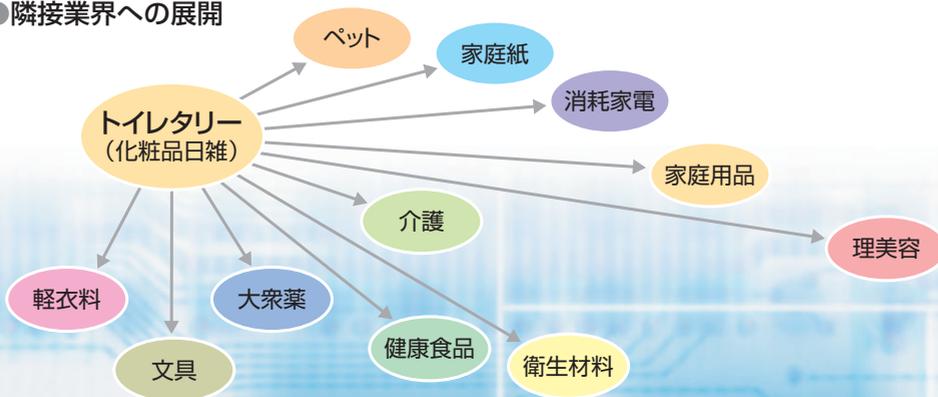


1,000社目ユーザー、シュウ ウエムラ化粧品  
 ゴティエさんへの記念品贈呈

プラネットのEDIネットワークは、創業した1985年以来20年間EDIの浸透を勧めてきた結果、ユーザーの満足度が高まり、隣接するペット業界、介護業界、理美容業界、家庭用品業界などへと拡大しています。その規模は、2005年7月末時点で、EDIを利用するメーカーが317社、卸売業が470社、また、資材EDIを利用する資材サプライヤーが246社となり、これらのユーザーの合計が1,033社となりました。

今後は、高速性、安全性に優れたインターネットEDIの導入と、料金改定などにより、利用ユーザーのさらなる拡大を見込み2008年には利用ユーザー数1,400社を目指してまいります。

#### ●隣接業界への展開



### ■ サンスター株式会社 (大阪府高槻市)



#### ●プロフィール

歯磨き、歯ブラシ、洗口剤、ヘアケア・スキンケアなどで有名なサンスターでは、プラネットのサービス開始当初から販売データを導入しており、20年におよぶ利用の過程で、独自のデータ活用ノウハウを蓄積し、高度な営業支援システムを開発運用しています。

#### ●販売データを活用して独自システムを開発

卸売業の同意のもとに小売店への販売情報を、プラネットの業界標準の販売データとして受信しています。1996年に、自社の営業部門への支援用に、販売データを活用する販売実績管理システムを開発しました。このシステムは、2005年にさらに使い勝手を向上させ、現在では、営業部門だけではなくスタッフ部門にも活用されるものへと発展しています。

#### ●迅速な問題解決のためにシステム構築を継続

この販売データを使ったシステムは、様々な切り口で実績を把握するために活用されており、販売計画を策定する別のシステムとともに活用されています。社内での様々なチェック処理・データ整備を経て、集計処理・データベース化されるなどして整理された販売データは、エリアマーケティングや得意先との商談で活用されているほか、迅速な営業戦術の展開や問題の発見のためにも一役買っています。

今後は営業担当のミッションに応じた情報をタイミングよく提供し、データに変化や異常値があれば警告を出せるようなシステムの構築を進めています。

### ■ コーセーコスメポート株式会社 (東京都中央区)



#### ●プロフィール

化粧品の製造販売で有名な株式会社コーセーの出資により、卸流通のセルフ化粧品を担う会社として1988年に設立された企業です。卸業から小売業に関わる川下管理に欠かせないツールとして、プラネットの販売データを活用しています。

#### ●システムの再構築と合わせて販売データ活用環境を整備

プラネット販売データの導入は比較的早かったのですが、1998年頃から全社的なシステム再構築を順次手掛け、2002年に完成しました。このシステムには、販売データを本格的に活用できるように整備構築した独自の営業支援システムも含まれており、営業活動を進める上で必要不可欠なものになっています。

#### ●そして販売データを本格的に活用

現在、営業部門では販売データを使用して販売店の管理や目標管理などを行っており、卸売業別、小売業別(個店単位)、営業担当別の販売実績を把握し、卸売業や小売業に対する商談や販売戦略の策定に活用しています。また、宣伝活動を行なう際には、対象エリアの販売実績に合わせて広告を投入するのですが、販売データで配荷状況がわかるので効果的なアプローチができています。さらに将来的には、販売データを生産計画や物流に活かし、生産管理や在庫管理の精度を高められるようにしていきたいと考えています。

# 当期の事業概況

## 事業環境及び経営成績

2005年7月期の日本経済は、設備投資や輸出の伸びに伴い民間企業を中心に企業収益に改善の動きが広がり、個人消費も緩やかながら増加してきました。しかし、当社が主なマーケットとしている日用品雑貨化粧品業界においては一部企業で業績の回復は見られるものの、市況は相変わらず消費需要の低迷と価格の低下傾向が続いています。また、一方では原油価格の高騰など原料高の状況が進行し、収益への影響が懸念されています。

こうした状況下、当社は既存ユーザーに対してデータ種の利用拡大と接続拡大をきめ細かく進め、EDI利用率向上を図りました。また、隣接業界のペットフードとペット用品業界、理美容業界への「基幹EDIサービス」の導入を進めて新たなユーザー企業を開拓するとともに、大衆薬業界対応の準備も進めました。情報系サービスである「バイヤーズネット」の導入を進め、従来

のメーカー・卸店の双方向ネットワークから小売業バイヤーまでも含めた新たなネットワーク作りを進めました。

この結果、2005年7月期の売上高は21億8,640万円（前期比3.8%増）、経常利益は3億5,365万円（同43.6%増）、当期純利益は2億3,309万円（同57.1%増）となりました。

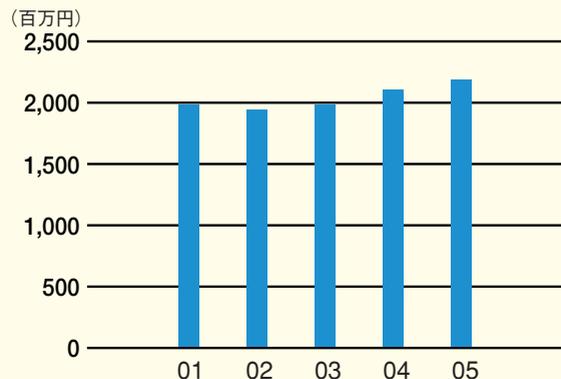
## 事業別の営業概況

プラネットの事業はEDI事業、データベース事業及びその他事業に分けることができます。

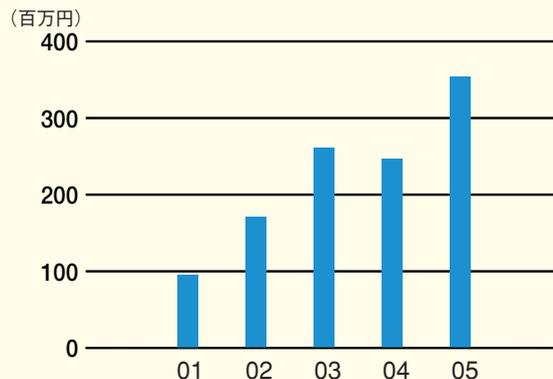
### ■EDI事業

メーカーと卸売業間のデータ交換を行うEDIサービスを提供する、プラネットの中核事業です。2005年7月期は、EDI利用率向上推進やインターネットを利用したWeb-EDIの普及などによる通信処理量の増加

### 売上高



### 経常利益



に支えられ、売上高は18億5,825万円（前期比5.0%増）となりました。

#### ■データベース事業

全国32万件の小売・卸売業情報をインターネットを介して提供する「取引先データベース」と、メーカーの商品情報を提供する「商品データベース」のサービスを展開しており、当期は、照会件数の順調な伸びにより、売上高は2億9,607万円（前期比4.7%増）となりました。

#### ■その他事業

メーカー・卸売業・小売業間のマーチャндаイジング業務を支援する「バイヤーズネット」、自社内及び自社と取引先とのコミュニケーションツールとしての「電子掲示板」、業界のイベント情報などを交換する「マルチメディアコミュニケーションサービス」などがあります。2005年7月期の売上高は3,207万円（前期比41.1%減）となりました。

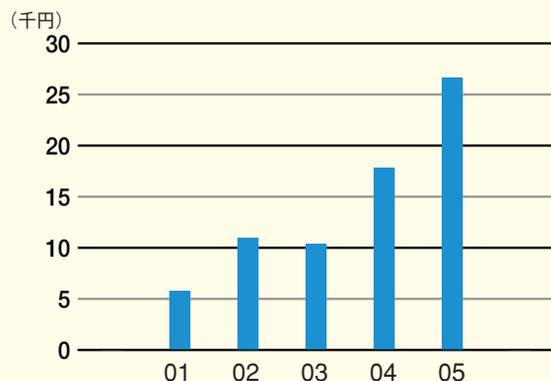
### 2006年7月期の見通し

今後は、日本経済全体では緩やかな回復傾向が続くと思われませんが、デフレ経済の継続や円高、国際政治経済の動向などのリスクもあり、先行きは楽観できません。

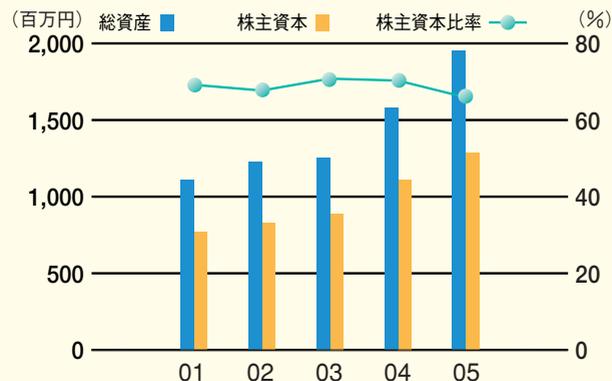
こうした環境下で、プラネットは引き続き既存のユーザーには「基幹EDIサービス」の利用拡大を一層きめ細かく行って需要拡大を図るとともに、ペット業界、理美容業界、大衆薬業界といった隣接業界へのEDIサービス導入を積極的に推進していきます。また、「バイヤーズネット」についても、さらにその機能を強化していきます。

その結果として、2006年7月期は売上高22億3,000万円（前期比2.0%増）、経常利益3億9,000万円（前期比10.3%増）、当期純利益2億6,000万円（前期比11.5%増）を見込んでいます。

#### 1株当たり当期純利益



#### 総資産/株主資本/株主資本比率



# 財務諸表（単体）

## 貸借対照表

（単位：千円）

	当 期 2005.7.31現在	前 期 2004.7.31現在
<b>（資産の部）</b>		
流動資産	1,095,716	1,035,746
現金及び預金	784,311	750,792
売掛金	290,213	267,679
前払費用	3,654	3,654
繰延税金資産	14,753	13,722
その他	3,284	697
貸倒引当金	△ 500	△ 800
固定資産	854,356	544,291
有形固定資産	8,659	7,960
建物	4,712	3,722
器具及び備品	3,946	4,237
無形固定資産	476,699	203,003
投資その他の資産	368,998	333,327
投資有価証券	203,829	243,452
関係会社株式	83,090	—
破産更生債権等	33	326
繰延税金資産	39,497	47,294
敷金及び保証金	39,450	39,450
その他	3,130	3,130
貸倒引当金	△ 33	△ 326
資産合計	1,950,073	1,580,037

### ■ 資産

流動資産は前期末比5,996万円増、固定資産は主にSMOOTHEDI稼動に向けた、ソフトウェアの増加などにより同3億1,006万円増となりました。この結果、総資産は前期末から3億7,003万円増加しています。

（単位：千円）

	当 期 2005.7.31現在	前 期 2004.7.31現在
<b>（負債の部）</b>		
流動負債	558,352	360,401
買掛金	189,724	192,211
未払金	244,115	45,632
未払費用	10,032	9,090
未払法人税等	91,174	82,704
未払消費税等	—	10,420
賞与引当金	15,558	13,917
その他	7,745	6,425
固定負債	106,109	108,436
退職給付引当金	59,907	45,782
役員退職慰労引当金	37,952	51,448
預り保証金	8,250	11,205
負債合計	664,461	468,837
<b>（資本の部）</b>		
資本金	436,100	436,100
資本剰余金	127,240	127,240
利益剰余金	696,560	538,795
その他有価証券評価差額金	25,710	9,064
資本合計	1,285,611	1,111,200
負債資本合計	1,950,073	1,580,037

### ■ 負債

流動負債のうち主にソフトウェアの取得による未払金が増加し、結果として負債合計は前期末から1億9,562万円の増加となりました。

## 損益計算書

(単位：千円)

	当期 2004.8～2005.7	前期 2003.8～2004.7
売上高	2,186,405	2,106,785
売上原価	1,161,974	1,195,023
売上総利益	1,024,431	911,762
販売費及び一般管理費	679,701	638,462
営業利益	344,729	273,299
営業外収益	11,184	4,642
営業外費用	2,256	31,581
経常利益	353,657	246,360
特別利益	24,432	129
特別損失	4,355	4,496
税引前当期純利益	373,734	241,993
法人税・住民税及び事業税	145,300	111,600
法人税等調整額	△ 4,658	△ 17,954
当期純利益	233,093	148,347
前期繰越利益	159,640	101,748
中間配当額	24,873	—
当期末処分利益	367,860	250,095

### ■ 売上高

事業別売上高構成比は、中核であるEDI事業による売上が順調に推移し85.0%を占め、以下データベース事業13.5%、その他事業1.5%となっています。

### ■ 営業利益

組織強化に伴う販売費及び一般管理費の増加（前期比4,123万円）がありましたが、売上高の増加（前期比7,961万円）及び売上原価の低減（前期比3,304万円）などにより、営業利益は前期に比べ7,142万円増加しました。

### ■ 営業外収益

受取配当金288万円、有価証券利息685万円などを計上しました。

### ■ 特別利益

当期において役員退職慰労引当金の内規を変更したことにより、役員退職慰労引当金戻入額2,404万円などを計上しました。

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当期 2004.8～2005.7	前期 2003.8～2004.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	297,302	344,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,835	△ 186,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 65,948	77,967
現金及び現金同等物の増加額	33,518	236,373
現金及び現金同等物の期首残高	750,792	514,419
現金及び現金同等物の期末残高	784,311	750,792

### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

前期に比して4,743万円黒字が減少していますが、これは税引前当期純利益の増加、法人税、消費税等の支払増加、その他によるものです。

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に使用した資金は、1億9,783万円（前期比1,150万円の増）となり、主にソフトウェア取得（1億7,616万円）及び投資有価証券の取得（5,000万円）などによるものです。

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いにより、6,594万円（前期比1億4,391万円増）を使用しました。

## 利益処分

(単位：千円)

	当期 2004.8～2005.7	前期 2003.8～2004.7
当期末処分利益	367,860	250,095
利益処分額	76,873	90,455
配当金	24,873	41,455
役員賞与金	12,000	9,000
（うち監査役分）	(1,000)	(820)
任意積立金	40,000	40,000
次期繰越利益	290,987	159,640

# 企業情報

■会社名	株式会社プラネット
■英文社名	PLANET, INC.
■主な事業内容	EDI基幹プラットフォームの 構築・提供・運用
■本社	東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦
■設立	1985年8月1日
■資本金	4億3,610万円 (2005年7月31日現在)
■従業員数	33名 (2005年7月31日現在)



パーク芝浦 12階

■取締役及び監査役 (2005年10月26日現在)	
取締役会長	中尾 哲雄
代表取締役社長	玉生 弘昌
取締役副社長	井上 美智男
常務取締役	石橋 光男
取締役	藤重 貞慶
常勤監査役	池井 邦信
監査役	坂口 克彦

■執行役員 (2005年10月26日現在)	
執行役員社長	玉生 弘昌
執行役員副社長	井上 美智男
執行役員常務	石橋 光男
執行役員	染谷 実
執行役員	長井 求

■監査法人 明和監査法人

## 株式の状況

会社が発行する株式の総数 .....19,200株  
 発行済の株式の総数 .....8,291株

(注) 2005年9月20日付をもって

会社が発行する株式の総数 .....38,400株  
 発行済の株式の総数 .....16,582株  
 に変更となっております。

## 大株主

ライオン株式会社 .....1,323.3株  
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社  
 (退職給付口・(株)インテックロ) .....1,323.0株  
 ユニ・チャーム株式会社 .....376.2株  
 株式会社資生堂 .....376.2株  
 サンスター株式会社 .....376.2株  
 ジョンソン株式会社 .....376.2株  
 エステー化学株式会社 .....376.2株  
 株式会社クレシア .....376.2株  
 牛乳石鹼共進社株式会社 .....376.2株

株主数 694名

名義書換代理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

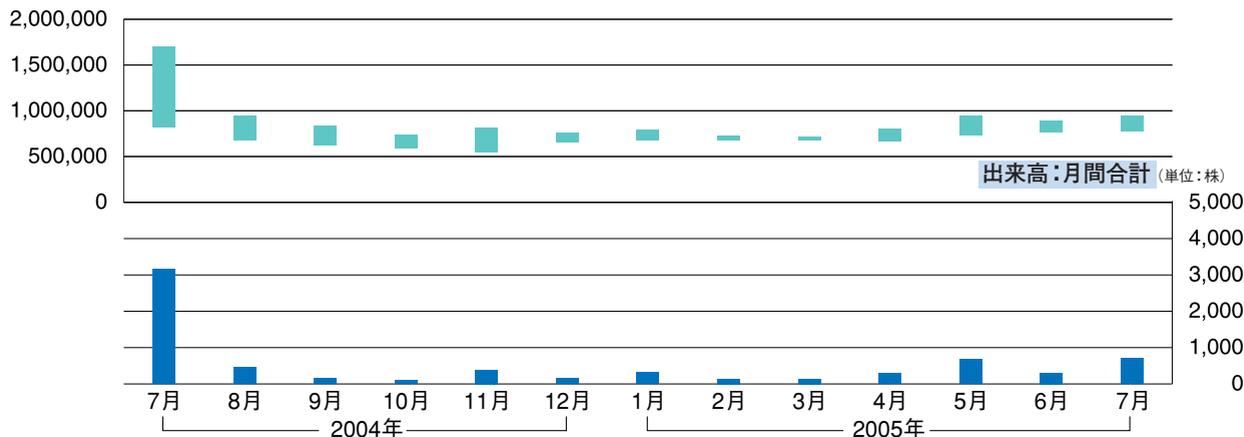
上場取引所 JASDAQ(証券コード:2391)

IR連絡先 経営企画室/TEL 03-5444-0811  
 e-mail keiei@planet-van.co.jp

URL <http://www.planet-van.co.jp>

## 株価、出来高

株価:月間高値・安値 (単位:円)



# 株主メモ

- 決算期 : 7月31日  
定時株主総会 : 毎年10月に開催  
株主確定基準日 : 毎年7月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 公告掲載新聞 : 日本経済新聞  
ただし、決算公告に代えて、貸借対照表を当社のホームページ  
(<http://www.planet-van.co.jp/ir/pn.html>) に掲載しております。
- 名義書換代理人 : 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 : 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 : 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
- 同取次所 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

## ■ お知らせ 配当金のお受け取りには便利な「口座振込」をおすすめします

配当金のお受け取りには、郵便局で直接お受け取りいただく方法と銀行・郵便局等への「口座振込」によりお受け取りいただく方法がございます。

「口座振込」によるお受け取りには、あらかじめ「配当金振込指定書」をご提出いただく必要がございますが、「口座振込」をご利用いただくと、「配当金の受取を忘れていた」、「郵便局で受け取るための書類が見つからない」といった心配がなくなり、安全かつ確実に配当金をお受け取りいただくことができます。

配当金の「口座振込」をご希望される場合には、お手数ですが、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部へお申し出下さい。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

この事業報告書は、古紙配合率100%の再生紙、VOC（揮発性有機化合物）発生を低減する植物性大豆油インキ、廃液を出さない氷なし印刷を採用しています。